

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

2019年度 第2回理事会議事録

開催日時： 2019年5月26日（日）13時00分～17時00分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）

出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、萱場広之理事、澤部祐司理事、
通山薫理事、萩原三千男理事、日高洋理事、和田隆志理事、
白井秀明監事、村上正巳監事

欠席者： 〆谷直人理事、栢森裕三監事

議題1. 理事長挨拶

康東天理事長より、多忙の中を第2回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。

- 1-1. 国際交流に関する打ち合わせを JACLaS の国際交流委員会と進めている。詳細については、本日の報告事項で萩原理事から報告の予定である。
- 1-2. 2021年度の春季セミナーと秋の大会の会長について、名古屋市立大学の田中靖人先生にお願いした結果、春季セミナーの例会長を受けていただけることで内諾を得た。大会長については、本日のその他事項で協議したい。との報告があった。

議題2. 報告事項

2-1. 総務職務報告（横田副理事長）

- ・ 病理検査領域の方々の参画を促す件に関して、1)遺伝子・プロテオミクス技術委員会にて名古屋第一赤十字病院の郡司昌治技師に技術セミナーの講演を依頼した。2)病理関係で協力をお願いする方について、国際医療福祉大学の長村義之先生と協議して人選を進めている。
- ・ 来年の大会で、病理のシンポジウム「病理検査と検体検査融合」を企画している。座長については、郡司技師と長村先生にお願いする。
- ・ 生理検査領域も参画者を増やす件も、帝京大学の古川先生と相談して進めたい。

以上の報告があった。

2-2. 役員候補者選挙報告(白井監事)(資料1)

白井監事より資料に基づいて以下の報告があった。

- ・5月18日(土)に選挙の開票作業を行った。有権者総数158名、投票者総数133名、投票率84.2%、有効が92名、無効が41名であった。
- ・投票用紙の確認にて、有効92名のうち1票に○印以外の記載があり無効票とし、有効票数は91票だった。
- ・開票結果：理事候補者は五十音順で、康先生、メ谷先生、村上先生、横田先生の4名となった。
- ・無効票の41人の事由は、返信用封筒に送付者の記名がないことであった。次回以降、外封筒裏側に氏名の記載欄を設け、記載がない場合は無効票となる旨の注意書きを設けるように改善することとする。

2-3. 学術担当より議事録報告(通山理事・日高理事)(資料2-11)

日高理事より資料に基づいて報告があり、以下について追加説明があった。

- ・学術委員会委員長会議・議題10で、委員会が増えたため大会中にセミナーやシンポジウムの開催が困難になっている事案について、支部でシンポジウム開催や大会期間の延長など、今回の大会を踏まえて理事会にて再度議論する。
- ・科学技術委員会から、技術セミナーが幾つか開催されており、受講者が自身の会場が分かりづらいとの声があり、学会事務局に改善要望があった。非会員の参加者に配慮し、参加登録した方向けに全体プログラムと会場案内の冊子を作成し渡すこととした。
- ・POC技術委員会議事録で、2-4)と2-5)のPOCセミナーの順番を入れ替える。また、第72回POCセミナーの担当幹事の木下先生から、非会員の講師派遣について実費を考慮して貰いたいとの意見があり、学会参加費は検査医学会で、旅費等の実費は自動化学会で負担することとした。
- ・血液検査機器技術委員会で、4-2)-(1)“演題名にはISOは明記しない”の記載理由が不明との意見があった。
- ・生理検査委員会議事録の配布資料で「5.その他」の記載の一部に抜けがあったが、通山理事より、日本臨床検査医学会・第66回学術集会で「生理機能領域における検査品質の保証」のテーマで、共催シンポジウムが予定されていることの報告であることが報告された。
- ・編集委員会議事録の「2-2 学会名の変更に伴う雑誌名の変更」については、本日の理事会の「その他事項」にて審議することとした。

2-4. 2021年度春季セミナー例会長について(康理事長)

- ・康理事長事より説明があり、例会長は名古屋市立大学の田中靖人先生にお願いし了承が得られた。

- ・2021年度の大会長も早期に決めるべきであり、引き続き理事長から候補者に依頼していただくこととした。
- 2-5. 医療情報委員会より(和田理事)(資料 12)
- ・和田理事より資料に基づいて、保健医療福祉情報システム工業会の藤咲委員長に補冊への原稿執筆依頼をお願いした旨、説明があった。
- 2-6. 国際交流委員会より(萩原理事)(資料 13)
- ・萩原理事より、国際活動キックオフと記念シンポジウム開催のプログラム案に関して資料に基づいて説明があった。
 - ・康委員長から補足説明があり、本委員会設立のベースは展示会の国際化を進展させるためだが、JACLaS内でも国際化の進展に対して意見の一致に至らず活動が進展していない。そのためJACLaSから切り離し、有志連合で基金を立ち上げることとした。
 - ・企業が東南アジアに進出し、大会でも東南アジアからの参加者を呼び入れるため、当会としても現地に出向いて協力活動や教育活動を支援したい。総会までに内容をつめることと、お金を集めるための趣意書を作成する必要があることが報告された。
 - ・委員会名称を「国際交流委員会」と正式に決定した。
- 2-7. 第51回大会一般演題登録数(石川)
- ・事務局より、5月26日現在で199演題の登録があり締め切りは5月30日(木)で、300演題を目標としたい旨の報告があった。
 - ・各理事に演題登録状況一覧を配布し、更なる演題登録の増加を支援することとした。
- 2-8. その他
- ・なし。

議題3. 審議事項

- 3-1. モーニングセミナーの座長、演者について(石川)(資料 14)
- ・事務局より資料に基づいて説明があり、以下のように候補者を検討した。また、セミナーⅠのテーマの変更が提案された。
 - ・演者・座長への打診は横田副理事長から依頼することとした。
- モーニングセミナーⅠ

テーマ：「採血室のスキルを学ぶ」

座長：杏林大学の太西先生

演者 1：コミュニケーション力として慶応大学の柴田技師長

講者 2：採血技術として杏林大学の太西先生

モーニングセミナーⅡ

テーマ：「検査のヒューマンエラー防止の基本を学ぶ」

座長：慈恵医科大学の海渡健先生

演者 1：慈恵医科大学の海渡健先生

演者 2：東京医科大学の上道技師長

3-2. JACLaS Award I [学部生部門]審査について(石川)(資料 15)

- ・事務局より資料に基づいて説明があり、審議の結果以下の5名に決定した。(五十音順)

甲斐 陽代里 (九州大学)

小柳 恵美 (埼玉県立大学)

中山 咲乃 (麻布大学)

中山 日向帆 (埼玉県立大学)

和田 恵理子 (広島国際大学)

3-3. 名誉会員・功労会員選出(石川)(資料 16)

- ・事務局より資料に基づいて説明があり、審議の結果以下の7名を推薦することとした。

名誉会員：宮島栄治先生

功労会員：福武勝幸先生、渡邊卓先生、戸塚実先生、竹岡啓子先生、大島久二先生、池淵研二先生

- ・なお、栢森裕三先生については、監事を退任されて秋の大会時に推薦することとした。
- ・名誉会員への推薦は「20年以上の会員歴」を理事会としての合意事項とした。また、功労会員の基準を緩和、功労会員への推薦は「評議員を8年」を理事会としての合意事項とした。

3-4. 定時社員総会議事案関連(横田副理事長)(資料 17-19)

- ・横田副理事長より資料に基づいて説明があり記載内容等を確認した。

- ・新理事長が指名する理事は、秋の社員総会にて承認される。それまでの間はオブザーバーとして理事会に出席することを確認した。
- ・学会の予算執行に少し余裕がでて安定化した運営となったので、今後は委員会活動に予算を活用し学会活動を充実する。
- ・第5号議案：学会名改称について以下の通り最終確認した。

学会名(和文)「一般社団法人 日本医療検査科学会」

学会英(英文)「The Japan Association for Clinical Laboratory
Science」

略称名「JCLS」

- ・会員数の月次推移の資料により、会員数は微増傾向を堅持していることを確認した。

上記以外に一部の誤記等について訂正した上で、修正版を各理事に送付し再度確認を取ることとした。

3-5. 事務局のプリンターリース満了について（石川）（資料 20）

- ・事務局より、機器のリース延長をすることについて費用的にメリットがない旨、説明があった。
- ・現：RICOH に対して新：Canon のサポート内容・リース料を加味した見積もりを比較すると、ほぼ同額の提案であった。
- ・横田副理事長と澤部会計担当理事と相談して、新たなリースメーカーを決定することとした。

3-6. その他

- ・本年度の宮地大会長から「海外講演者とのレセプションについて」の提案があった。本学会としては、学会期間中に開催する“情報交換会”に招待すれば良いとし、本提案の開催は見送ることとした。なお、JACLaS で費用を支出する意向があるのであれば、当会としては特に関知はしないこととした。
- ・学会名の変更に伴う雑誌名の変更について協議の結果、雑誌名は「医療検査と自動化」とし、下に「一般社団法人 日本医療検査科学会誌」を小さく付けることとした。

雑誌名(英文)は「Journal of Clinical Laboratory Science」とすることとした。

- ・補冊への執筆に対して、会員・学会員に関わらず全ての執筆者にQUOカード(¥2,000)を提供することとした。

議題4. その他

4-1. 次回の開催日程

- ・標記について確認し、以下の通りとした。

- (1) 第3回理事会：2019年6月22日(金) 13:15～13:45
文京区民センター 3階 会議室 A+B
- (2) 定時社員総会：2019年6月22日(金) 13:45～14:15
文京区民センター 3階 会議室 A+B
- (3) 理事会(理事長選出)：2019年6月22日(金) 14:15～14:35
文京区民センター 3階 和室
- (4) 定時社員総会(理事長、指名理事承認)
：2019年6月22日(金) 14:40～14:50
文京区民センター 3階 会議室 A+B

以上


2019年8月25日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康東天 

議事録署名人
(出席監事)

白井秀明 

議事録署名人
(出席監事)

村上正巳 